

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2025年度 佐久大学 一般選抜（前期）

# 『 国 語 』

（2025年 2月 3日 実施）

## 【 注 意 事 項 】

1. この試験問題の解答時間は60分です。
2. 解答用紙はすべて HB の黒鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
3. 試験監督者の指示に従って、この問題冊子の表紙と解答用紙の指定欄に受験番号と氏名を記入及びマークしてください。
4. メモ等には問題冊子の余白や裏面を利用してください。
5. 解答時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて試験監督者に知らせてください。
6. 問題を読む際、声を出したり、音を立てたりしてはいけません。
7. この問題冊子は持ち帰ってはいけません。

|      |  |     |  |
|------|--|-----|--|
| 受験番号 |  | 氏 名 |  |
|------|--|-----|--|

## 第1問

次の文章は、羽澄俊裕『外来動物対策のゆくえ 生物多様性保全とニュー・ワイルド論』の一節である。ただし、1から11までは形式段落に付した番号である。この文章を読んで後の問い（問一～問六）に答えなさい。【得点50点】解答番号 1 ～ 9

1 野生動物が都会で起こす問題は平成年間を通して増えています。庭先に出没したタヌキやアライグマに餌をやつてしまふ人た<sup>ひと</sup>ちを興味本位でメデイアが扱ったりするところには、すでに定着に成功しています。そこで繁<sup>1</sup>シヨクして生まれた子どもは都会の環境こそホームですから、当然、人馴れが進みます。彼らの多くは都会の緑地に隠れすみ、周辺の市街地に出没しては生<sup>ひと</sup>ごみを荒らして問題を起こします。住民にとっては在来種も外来種も関係ありません。

2 市街地で発生する問題をなくすには、分布の核となる緑地を確認して、そこで起きる生態系の害を防ぐことに重点を置いて戦略を立てるほうが、より早く問題解決に近づけます。それには人々の関心を集めることがポイントです。まずは公園緑地の管理主体が中心となつて生物多様性に関する情報を整理し、公開しながら、市民参加の調査活動を活発にすることです。それによって外来の動植物の侵入や生態系の害の早期発見につながります。

3 コロナ禍の中、中国で開催された生物多様性条約締結国の<sup>注</sup>昆明会議（COP15）で次の二〇三〇年までの目標の議論が始まり、第二部として開催されたカナダのモントリオール会議で「30 by 30」という目標が掲げられました。それは、二〇三〇年までに海域で三〇パーセント以上、陸域で三〇パーセント以上を自然環境エリアとして保全の対象にするというものです。この目標に対して二〇二一年のG7（主要七カ国首脳会議）が目標達成を約束して（二〇三〇年自然協約）、二〇三〇年までに生物多様性の損失を止めて回復軌道に乗せるとい<sup>う</sup>、「ネイチャーポジティブ宣言」を打ち出しました。「ネイチャーポジティブ」とは、「企業・経済活動によって生じる自然環境への負の影響を抑えて、生物多様性を含めた自然資本を回復させることを目指す」とする考え方のことです。G7に参加する日本政府も足並みをそろえることになりました。

4 こうした国際的な流れに沿って、二〇二三年に「生物多様性国家戦略二〇二二―二〇三〇」が国会で<sup>2</sup>シヨウ認されました。そこには「30 by 30」の目標として、「保護地域（国立公園等）の更なる拡充・管理」、「保護地域以外の場所で生物多様性保全に貢献する場所（OECM）の認定（社寺林、企業有林、企業緑地、里地里山等）」と書かれています。OECM（Other Effective area-based Conservation Measures）とは、「その他の効果的な地域をベースとする手段」という意味で、国立公園などの既存の保護地域以外に、生物多様性を効果的かつ長期的に保全しうる地域のことを指します。そのため環境省では、一〇〇地域以上のOECMを認定するとの目標を掲げて議論が始まっていますが、二〇二二年時点の保護地域の

割合は、陸域で二〇・五パーセント、海域で二三・三パーセントのことですから、かなりたいへんです。

5 OECMは、ただ面積を確保することだけでは意味をなしません。A 保全すべきは生物多様性の質にあります。これからの時代は人口減少で放置された環境が増えて大規模な気象災害の影響を受けます。耐性の低い種が消えて外来種を含むたくましい種がやたらと繁栄する、新たな種構成の生態系（ニュー・ワールド）へと変化していくことは避けられません。社会は災害復旧や人々の生活再建が第一となりますから、生物多様性など放置されてしまいます。

a 「生物多様性の損失を止めて、回復軌道に乗せる」という「30 by 30」の目標に向けて、生態系を広く視野に入れた周知なマネジメントの戦略をセットしておかなくてはなりません。

6 災害後の土地は、土地利用の再編や国土計画の大(3)バな見直しが必要になってくるでしょう。人間の撤退にともなう自然環境の変化を俯瞰すれば、OECMの候補地もあがってくるでしょう。そこに生態系のネットワークを(4)コウ想して、OECM機能をプラットホームとして配置する。そんなふうに生態系の視点で国土の全体をマネジメントする方向へと、舵を切るきっかけが生まれればよいと思います。

7 行政が主導する生物多様性保全は、そこにすむ在来種の保全と害性の排除の両面で成り立ちます。OECMは奥山というよりは平地の人間生活に近いところに設定されるでしょうから、人間と野生動物の軋轢も、先にあげた平地の生態系の害も大きくなると予想されます。そのためOECMでは害性の管理を重視することになるでしょう。

8 基本的なことですが、人間に直接の害（農林水産被害、生活環境害、保健衛生害、交通事故、人身事故など）を持ち込む生物は、在来種であれ、外来種であれ、人間の利用空間に入ってきた段階で排除されるものです。クマやイノシシのような大型動物、ネズミ、ゴキブリ、毒虫、家の中に入り込むハクビシンやアライグマも駆除されます。これはOECMであつてもなくても同じです。OECMが保護地域だからこそ悩ましいのは生態系の害です。

9 ある生態系に植物群落が生育して、さまざまな動物群（水生生物、魚類、昆虫類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類）が生息するとき、そこには「喰う、喰われる」の食物連鎖の関係が生まれます。そのときOECMのI が問題になります。もしも孤立した生物の集団のすむOECMに新たに捕食動物が入り込んだとき、それを排除するか受け入れるかが議論になります。それが外来種であれば迷わず排除の選択がされますが、悩ましいのは在来の動物です。b 在来のキツネ、タヌキ、イタチ、テンなどが新たに入り込んだ場合、捕食動物は食物連鎖の中で重要な役割を果たしていますから、それを排除するか、生態系のなりゆきにまかせるかを問う議論が浮上します。

10 山の上のシカは、対象地域の密度を下げて、希少性の高い植物群落には柵を設置して空間的に排除します。おそらくOECM内でシカの密度が高まったら同じ選択をするでしょう。この文脈に従えば、在来の捕食動物の場合も、希少性の高い動物個体群のすむ環境には緊急避難的に柵を設

置して侵入を防ぎ、捕食者は排除するという選択をすることになります。そもそも捕食動物の分布域が他に広く存在するのなら、OECMからは排除するという選択は正しいでしょう。

c

11 いずれにしてもOECMを指定したら、まずは、マネジメントの体制を整えて、どのような希少生物群が存在するのか、その種を追い詰める脅(5)イとはなにかということをきちんと確かめて、的確なマネジメントの方針をセットしなくてはなりません。指定して終わりではありません。

注―昆明は中国雲南省の省都である。

問一 傍線部(1)～(5)のカタカナと同一の漢字を使うものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

1

く

5

- |     |      |              |                |              |
|-----|------|--------------|----------------|--------------|
| (1) | 繁シヨク | ① 不安を払シヨクする  | ② 条件に難シヨクを示す   | ③ 将来をシヨク望される |
|     |      | ④ ウナギの養シヨク   | ⑤ 本に誤シヨクがある    |              |
| (2) | シヨウ認 | ① 功績を顕シヨウする  | ② 正面からシヨウ突する   | ③ シヨウ細まで検討する |
|     |      | ④ 事業を継シヨウする  | ⑤ 損害を賠シヨウする    |              |
| (3) | 大ハバ  | ① フク員を拡張する   | ② 風邪薬をフク用する    | ③ 無断フク製を禁ずる  |
|     |      | ④ フク面をかぶる    | ⑤ 物語のフク線       |              |
| (4) | コウ想  | ① コウ素反応を理解する | ② 虚コウを描いた作品である | ③ コウ堂に全員が集まる |
|     |      | ④ コウ買部を新設する  | ⑤ 政策の大コウを定める   |              |

(5) 脅い

① 完全にイ縮する

④ 資源を海外にイ存する

⑤ 故人のイ志を継ぐ  
イ人伝を読む

③ イ廠を保つ

問二 傍線部A「保全すべきは生物多様性の質にあります」とあるが、生物多様性の質を保全しないと生態系はどのように変化するか。「く」という変化。」に続くように、三十字以上三十五字以内で抜き出し、解答用紙に記入しなさい。(句読点・記号等も一字に数える)

問三

本文中

6

a

く

c

の三つの空欄に入る言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを、次の①く⑤のうちから一つ選びなさい。

- |   |   |        |   |      |   |      |
|---|---|--------|---|------|---|------|
| ① | a | だからこそ  | b | たとえば | c | まして  |
| ② | a | しかしながら | b | すなわち | c | まして  |
| ③ | a | しかしながら | b | なぜなら | c | あるいは |
| ④ | a | それに加えて | b | たとえば | c | あるいは |
| ⑤ | a | だからこそ  | b | すなわち | c | まして  |

問四

本文中

I

の空欄に入る言葉として最もふさわしいものを、次の①く⑤のうちから一つ選びなさい。

7

- ① 透視性      ② 内向性      ③ 正当性      ④ 生産性      ⑤ 閉鎖性

問五 本文を意味段落で三つの部分に分けたものとして最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

8

| ⑤                                           | ④                                 | ③                                           | ②                                                   | ①                                                   |
|---------------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 1<br>・<br>2<br>・<br>3                       | 1<br>・<br>2<br>・<br>3             | 1<br>・<br>2<br>・<br>3                       | 1<br>・<br>2<br>・<br>3                               | 1<br>・<br>2<br>・<br>3                               |
| ..                                          | ..                                | ..                                          | ..                                                  | ..                                                  |
| 4<br>・<br>5<br>・<br>6                       | 4<br>・<br>5<br>・<br>6             | 3<br>・<br>4<br>・<br>5<br>・<br>6<br>・<br>7   | 3<br>・<br>4<br>・<br>5<br>・<br>6<br>・<br>7<br>・<br>8 | 3<br>・<br>4<br>・<br>5<br>・<br>6<br>・<br>7<br>・<br>8 |
| ..                                          | ..                                | ..                                          | ..                                                  | ..                                                  |
| 7<br>・<br>8<br>・<br>9<br>・<br>10<br>・<br>11 | 8<br>・<br>9<br>・<br>10<br>・<br>11 | 7<br>・<br>8<br>・<br>9<br>・<br>10<br>・<br>11 | 8<br>・<br>9<br>・<br>10<br>・<br>11                   | 9<br>・<br>10<br>・<br>11                             |

問六 本文の内容に合致しないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

9

- ① OECMとは、国立公園のような既存の保護地域以外で、生物多様性を効果的かつ長期的に保全しうる地域である。
- ② OECMの施策では、十分な広さの面積を確保することよりも、生物の生態系を広く視野に入れることが求められる。
- ③ 平地の人間生活に近いところにOECMが設定されるならば、害性の管理を重視することになるだろうと考えられる。
- ④ OECMであろうがあるまいが、人間の利用空間に入ってきた段階で人間に直接の害を持ち込む生物は排除される。
- ⑤ 捕食動物の分布域が他に広く存在するならば、その捕食動物はOECMから排除するという選択は正しいと判断される。

## 第2問

次の文章は、森楚こみち『蝶の羽ばたき、その先へ』の一節である。中学二年生の結は突発性難聴を患って片耳が不自由になり、手話サークル「もみじ」に参加するようになった。以下は、「もみじ」が主催するイベントの場面である。この文章を読んで後の問い（問一～問八）に答えなさい。【得点 50 点】 解答番号 

|    |
|----|
| 10 |
|----|

 ～ 

|    |
|----|
| 18 |
|----|

翌日、わたしは図書館のホールにつづく小部屋にいた。加えてもらうことになったコントの場面を確認しておこうということになったのだ。半分だけ開けたドアの向こうから大きな笑い声が聞こえてくる。聞こえるのはわたしだけだったから、がははと笑ってドアの向こうを指し、受けていることを伝えた。そんな舞台のとなりでコントを合わせた。新しく加えた場面だけじゃなく、ひととおりやつてもみた。

「ばつちり」

今日子きょうこさんが親指を立てた。

「結ちゃんの手話も完璧。自信もつていいわよ。じゃ、中に入って落語見ようか」

「このほうがいいかも。中に入ると 

|   |
|---|
| A |
|---|

 ような気がする」

「そう？ わたしはいくわよ。いい？」

「はい」

わたしは大船おおふねさんと若田わかたさん、それにマジックのふたりといっしょに小部屋に残った。四人は派手な衣装を着ていたから、出番までここで待つことになっていたのだ。

落語が終わり、マジックのふたりが勢いよく舞台にでていった。わたしたちは、ドアのあいだから舞台をのぞいた。ひもが切れたり、つながったり。(1) ひよんなどころからでてきたり。客席からは何度も拍手が起こった。

マジックのふたりが舞台の上でふんぞりかえった。

司会者が声と手話で客席に呼びかけている。

「種も仕掛けもない。あると思う者はいるか？ そういう(2) 不届き者は手をあげよといっています。不届き者はいらっしゃいますか？」

ふたりは、かかってこいというみたいに挑発した。【 I 】

客席からひとり、舞台にあがった。拍手が起こる。和やかな雰囲気だ。

そしていよいよ大船さんと若田さんが演じるコミックマイム、笑えるパントマイムの出番になった。ふたりが後ろ向きに、だれかに首のところを引っ張られるようにして舞台にでていくと、それだけで笑いが起こった。わたしは今日さんと同じように別の出口から廊下にて、ぐるっとまわってホールに入った。

小部屋からではわからなかったけれど、ホールはひとでいっぱいだった。二百脚用意したパイプ椅子はすべて埋まり、立ち見のひとまでいる。こんなになっているなんて思ってもいなかった。立ち見のひとの視界をじゃましないように頭をさげて、壁ぞいに前のほうに移動した。心臓が勝手にばくばくし始めている。

パントマイムは笑いの渦だった。くすくすという笑いもあれば、あははという大笑いもある。ツボにはまってしまったのか、苦しそうにお腹を押さえているひともある。最後にふたりが帽子をとっておじぎをすると、大きな拍手が起こり、聞こえないひとたちは頭上でひらひらと手をふつた。【Ⅱ】

司会者がマイクの前に立った。

いよいよだ。心臓のばくばくがとまらない。

「これできょうの演目はすべて終わりました」

また拍手が起こる。

「最後に、Bみなさまへのお願いがあります。わたしたちからのお願いです。Cコントにしましたので、どうか、ご覧ください」

舞台には椅子がふたつ置かれている。そのひとつに、白衣をはおり、マスクをした大船さんがすわり、机の上のパソコンを見ている。机もパソコンもないのに、あるように見えるからすごい。見えないドアを開けて若田さんが入り、椅子にすわる。ごほん、ごほんせきと咳をするように、すぐに患者だとわかる。【Ⅲ】

それから、ふたりの③軽妙やりとりだ。マスクをあごのところまで下げようとする若田さんと、マスクを死守しようとする大船さん。身によじったり、のけぞったり。大船さんがとうとう怒ってマスクを投げ捨て、若田さんをにらんだ瞬間、やった、マスクをとって自分のほうを向いたと、若田さんがこぶしを突き上げた。笑いをとりながら「マスクを下げて、こちらに顔を向けて話してほしい」ということを伝えた。【Ⅳ】

最後のシーンを見届けて、わたしはマイクの前に立った。客席を見渡したとたん、心臓のばくばくが一気に高まった。たくさんの顔。その中から真紀まきの顔が目飛び込んできた。真紀のまわりにはクラスメートがいた。陽菜ひなちゃんも、涼介りょうすけも、ほかのクラスメートも。こんなにきこれるなんて予想していなかった。心臓がこらえきれないように、ばくん、ばくん、する。落ちつけ、落ちつけ。結、落ちつけ。お客さんの顔をカボチャ



だと思いなさい。やっぱり、それムリ。というかママ、お願い、わたしの視界の中に入ってこないで、いまは。息を吸った。

「いまのコントは、聞こえないひとがどんなことに困るのかという一例です」

声をだし、手を動かしした。

「じつは、わたしは片方の耳が聞こえません。もう片方の耳が聞こえるので、日常生活に不便はありませんが、でも、D こんなことがあります」

大船さんが斜め後方でわたしを呼んだ。大船さんの特徴のある声に、はっとした顔をしたひとたちがいた。わたしは打ち合わせどおり右を、大船さんとは逆の方向をふりむいて、だれもいない変だなあと首を傾<sup>ひ</sup>げてみせた。背後では、大船さんと若田さんが、もっとおおげさに首をひねっているはずだ。

若田さんが、ひらめいたと客席にアピールした。【V】

大船さんが、もう一度わたしを呼んだ。わたしは、ためて、ためて、ためて、ゆつくりと、さつきと同じ方向へ首<sup>うぶ</sup>をめぐらせた。小さな子がますます喜ぶ。わたしの目の前にあるのは、若田さんのほっぺ。目をつぶって、キスしてもらうのを待つような、うっとりとした表情の若田さんのほっぺがある。その若田さんの頭を、大船さんが丸めたパンフレットで思い切りはいた。みんなが笑った。

E 笑いがおさまるのを待つて、声をだし、手を動かしした。

「わたしは、どこから音が聞こえたのか、わからないことがあります。みんながいつせいに話すと聞き取れません。けれど、友だちにそのことを伝えることができませんでした。伝えたいと思ったことも、伝えようとしたこともありましたが、どうしてもできませんでした。聞こえないということがあるのか、うまく説明できる自信がなかったし、説明したとしても、だからどうしてほしいといったらいいか、わからなかったのです。それが、わたしには、わからなかったのです」

大船さんが、客席に見えるようにパンフレットを広げてくれる。

「でも、このパンフレットには、聞こえないひとが病院に行ったとき、どんなことで困るのか、こうしてほしいということが書いてあります。もしかししたら、高齢者の方にも同じ悩みがあるかもしれません。わたしたちは、お医者さんや看護師さんにこのパンフレットを渡して、自分たちのことを伝えようと思います」

客席を見渡した。

「みなさんが病院に行くときも、このパンフレットを持っていっただけませんか。聞こえないひとはこうみたいだよと、お医者さんや看護師さんに渡してもらえたら、とてもうれしいです。パンフレットは出口のところに用意しました。どうか、お持ち帰りください」

頭をさげようとしたら、今日子さんが待つてというように手をふっている。そしてホームページの手話をした。いけない、忘れるところだった。「このパンフレットはパソコンからプリントアウトできます。必要なときは、医療パンフレット、聴覚障害と入力し、検索してみてください」今度こそ頭をさげた。ふーっ。終わった。

問一 傍線部(1)～(3)の本文中での意味として最もふさわしいものを、あとの①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

10  
～  
12

(1) ひよんなところ

- |             |            |           |
|-------------|------------|-----------|
| ① 思いがけないところ | ② 誰もいないところ | ③ 人が多いところ |
| ④ 注目の集まるどころ | ⑤ とても狭いところ |           |

(2) 不屈ずっすうき者

- |                              |          |          |
|------------------------------|----------|----------|
| ① 図々 <small>ずうずう</small> しい人 | ② さかしらな人 | ③ けしからぬ人 |
| ④ 恥知らずな人                     | ⑤ こっけいな人 |          |

(3) 軽妙な

- |               |             |               |
|---------------|-------------|---------------|
| ① 思慮が浅くて物足りない | ② 気が利いてしゃれた | ③ よく考えられて不思議な |
| ④ この上なく優れている  | ⑤ 目新しくて面白い  |               |

問二 本文中の空欄 A に入る言葉として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

13

- |       |        |          |         |        |
|-------|--------|----------|---------|--------|
| ① 白ける | ② 興奮する | ③ ネタばれする | ④ 気が紛れる | ⑤ 緊張する |
|-------|--------|----------|---------|--------|



問六 傍線部D「こんなこと」とあるが、その内容の説明として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

16

- ① 音が聞こえにくいときに、相手にどうしてほしいのかわからない場合がある。
- ② 片方の耳が聞こえないことを、誰かに伝えたくても伝えられない場合がある。
- ③ 片方の耳が聞こえないことを説明しようとしても、うまく伝わらない場合がある。
- ④ 声をかけられても、どの方向から音が聞こえてきたのかわからない場合がある。
- ⑤ 複数の人が自分に向かって同時に話すと、内容が聞き取れない場合がある。

問七 傍線部E「笑いがおさまるのを待って、声をだし、手を動かした」とあるが、このときの結の様子として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

17

- ① 二百人を超える観客の前でも堂々と話せている自分に驚いている。
- ② 会場の様子に合わせて進行できる程には落ち着くことができている。
- ③ 自分の参加したコントで観客が笑ってくれたので、満足している。
- ④ 観客の顔がカボチャのように見えてきて、ママの言う通りだと実感している。
- ⑤ すべて今日子さんとの打ち合わせ通りに進行できて安心している。

問八 本文の表現の説明として最もふさわしいものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

18

- ① 大船さんや若田さんのマジックの様子を細かく描写することで、二人の面白さが強調されている。
- ② 地の文に結のせりふを混ぜて書くことで、読者が結に共感して同一化するような工夫がされている。
- ③ 擬声語や擬態語を使用することで、周囲の状況や登場人物の感情をわかりやすく表現している。
- ④ 場面設定にコントを用いることで、悲しい話であっても読者も楽しみながら読むことができる。
- ⑤ 一文一文を短く書くことで、コントで笑いが徐々に起こる様子をテンポよく書いている。